

大分県教育庁日田教育事務所管内 第1回授業改善協議会

大分県教育庁日田教育事務所管内 第1回授業改善協議会

令和3年4月16日（金）
大分県教育庁日田教育事務所

いきなりですが

”ICE BREAKING”



クイズ

3秒以内で覚えて
ください

9736547538

チャンク
に区切る

(0)973-654-7538

大分県内で見られる夕日

“**ICE
BREAKING**”
「**真玉の夕日**」



さてどこでしょう??

“ICE BREAKING” 「真玉の夕日」

このあたり



またまたいきなりですが…

QUESTION!!



人類が地球上に出現して

どのくらい

(何年くらい)

になるでしょう？

地球の誕生

45億年ないし
46億年前



人類の進化



猿人



原人



旧人



新人

猿人:アウストラロピテクス **400**万年前

原人:ホモエレクトス **160**万年前

旧人:ホモサピエンス **30**万年前

新人: **1~2**万年前

地球誕生から46億年の歴史を 1年の365日のカレンダーで表して見ると...

1月1日 原始地球が誕生

1月12日 原始地球が地球と月に分かれる

2月9日 地殻が固まり、陸と海ができる

2月17日 海中でタンパク質や核酸ができる

2月25日 細胞や細菌などの原始生命体誕生

5月31日 光合成ができるバクテリアが生まれ
酸素の放出を始める

8月3日 今の世界の基盤となる1つの超大陸
が誕生する

10月29日 超大陸が分裂し始める

11月14日 温暖な気候が続き、オゾン層が
形成される

11月20日 魚類が誕生する

11月28日 植物や昆虫、両生類が陸に上がる

12月13日 恐竜、爬虫類が誕生する

- 12月19日 鳥類が誕生する
- 12月26日 午後8時17分 巨大隕石が激突して恐竜
が絶滅 哺乳類が繁栄し始める
- 12月31日 午前10時40分 人類のルーツとなる猿人
が誕生(700万年前)
- 12月31日 午後3時39分 猿人が直立二足歩行を
開始する(440万年前)
- 12月31日 午後7時15分 猿人が石器を使い始める
(250万年前)
- 12月31日 午後8時35分 猿人が火を使い始める
(180万年前)
- 12月31日 午後11時58分52秒 猿人が進化した
現生人類が農耕牧畜を始める(1万年前)
- 12月31日 午後11時59分46秒 西暦が始まる

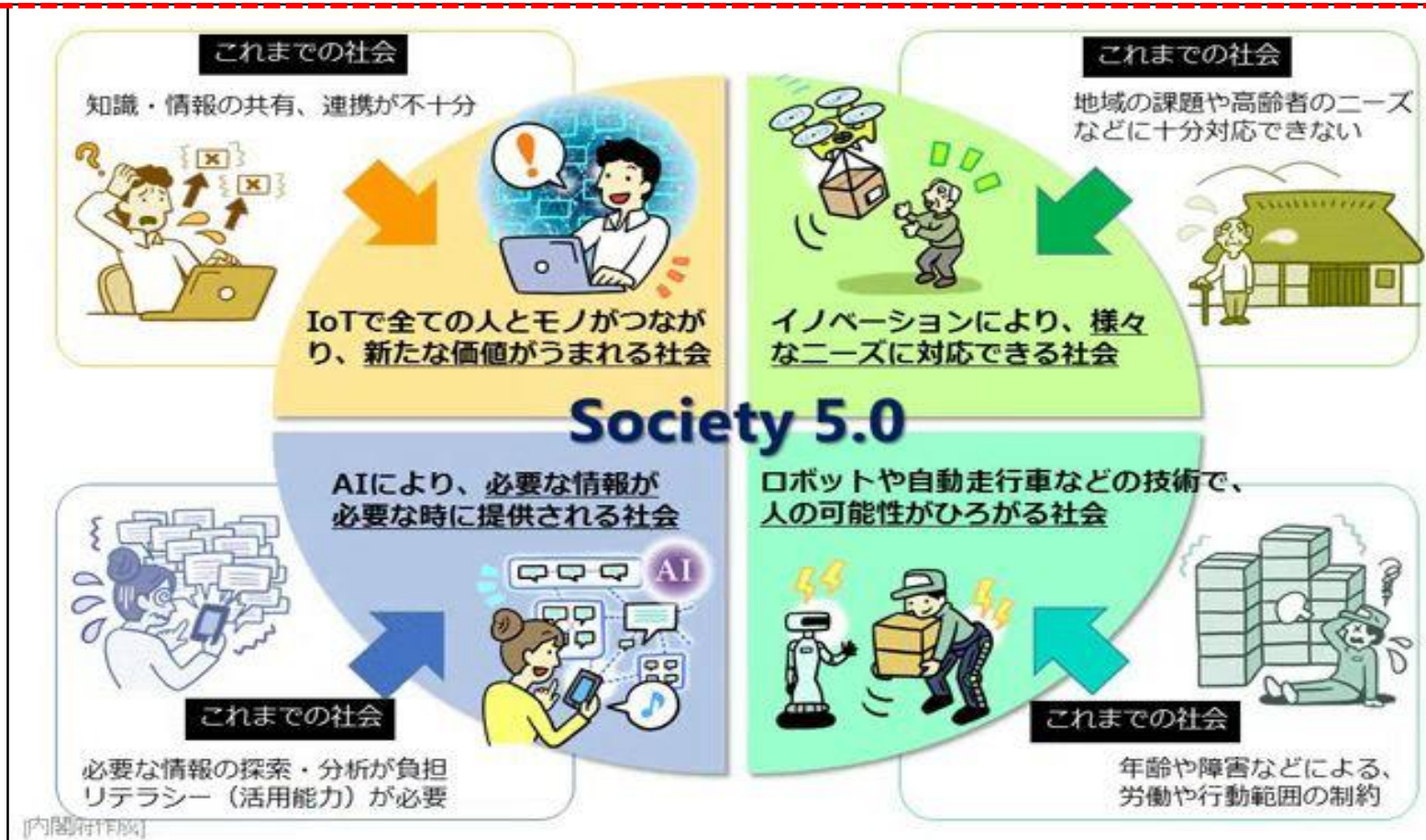
• 12月31日 午後11時59分59秒

20世紀が始まり、終わる

What is Society 5.0



- ・子どもたちの**65%**は、大学卒業後、**今は存在していない職業**に就く
(キャシー・デビッドソン氏)
- ・今後10～20年程度で、**約47%の仕事が自動化**される可能性が高い
(マイケル・A・オズボーン氏)



子どもたちが生きる未来

Society5.0による人間中心の社会



Society5.0では、ビッグデータを踏まえたAIやロボットが今まで人間が行っていた作業や調整を代行・支援するため、日々の煩雑で不得手な作業などから解放され、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができるようになります。

SOCIETY 5.0
に生きる子どもたちの
イメージは？

自分も友だちも大切にすることも

自分の考えを持ち、友だちの話をよく聴き、協働して学ぶ子ども

お互いの違いを認め、支え合って課題を解決できる子ども

学ぶことの楽しさを知り、主体的に学習に取り組む子ども

どうしたらできるの？



投げ所はなに？

ポイント①

学習指導要領の改訂の経緯が示されている。

改訂の経緯

- ◇今の子どもたちが活躍する時代
 - 生産年齢人口の減少
 - グローバル化の進展や技術革新

予測困難な時代

H28.12.21中央教育審議会

「2030年の社会とその先の未来において、子どもたちがよりよい人生と社会を築いていくために…」

何が起こるか分からないし、今予測されていることもその通りになるとは言えない。

未知の状況が次々と起こる急激な社会変化の中で…

未来の作り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する

- ・**基礎的基本的な学力は変わることなく必要。**
一方で、科学技術や社会の変化に応じて知識が役立たなくなる。
- ・人間に求められるのは、感性を豊かに働かせ、どのように社会や人生をよりよいものにしていくかを考え、**主体的に学び続けて**、自らの能力を引き出し、**試行錯誤したり、多様な他者と協働したり**して、新たな価値を生み出していくこと。

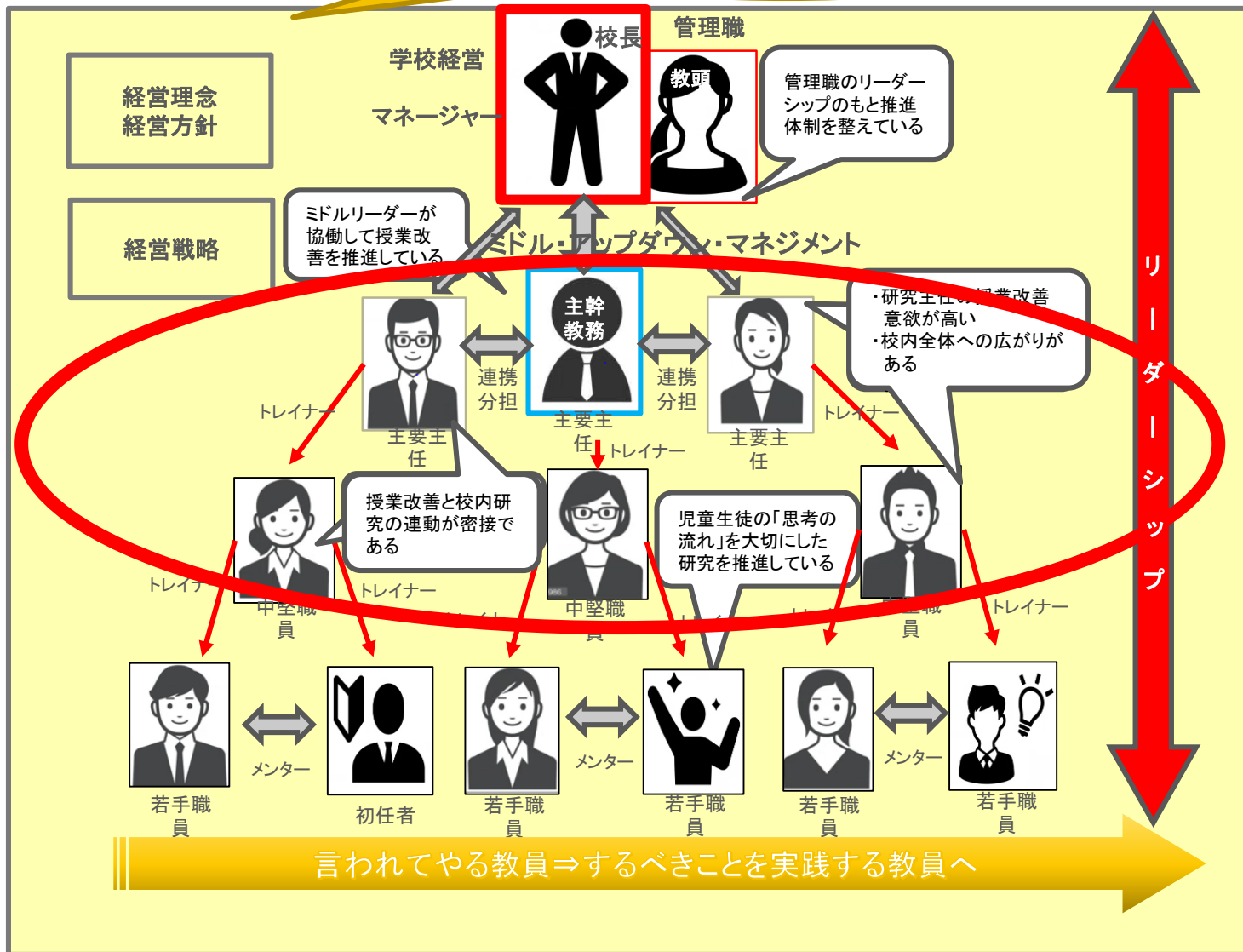
◆**学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させていく。**

→できる限り、保護者・地域の人々に理解してもらい、そちらではたすべきことをやってもらうよう要請し、足りないところを補っていく。

(中央教育審議会教育課程部会長 無藤 隆)

皆さんのいる「位置」は？

令和2年度 9月
別府教育事務所管内
小中学校の事例から



管理職のリーダーシップのもと
推進体制を整えている

ミドルリーダーが協働して授業改善を
推進している

児童生徒の「思考の流れ」を大切に
した研究を推進している

研究主任の授業改善意欲が高い
校内全体への広がりがある

社会に開かれた 教育課程

の実現を目指し…

学習指導要領の枠組みを6点にわたって改善

- ①何ができるようになるか
(育成を目指す資質・能力)
- ②何を学ぶか
(教科等を学ぶ意義と教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成)
- ③どのように学ぶか
(各教科等の指導計画の作成と実施, 学習・指導の改善・充実)
- ④子供一人一人の発達をどのように支援するか
(子供の発達を踏まえた指導)
- ⑤何が身に付いたか
(学習評価の充実)
- ⑥実施するために何が必要か
(学習指導要領の理念を実現するために必要な方策)

各学校において、
学校教育の改善・充実に
教育課程を軸に
生み出す。

提言3.「生徒と共に創る授業」の推進



生徒による授業評価の充実を図るには

① 授業評価の意義を生徒も理解



- 目指す授業像を生徒と共有し、生徒とともに学習目標を設定したり、学習目標を授業評価の項目に反映させたりする。
- 教員と生徒が共通理解できるような資料をワンペーパーで作成し活用する。
- 異動で教員のメンバーが入れ替わっても、生徒の代表が、「～な授業を目指している」と説明するような場面をつくる。

② 生徒の「声」を授業で実現

<実際の生徒の「声」>

- ・全教科で授業前の「2分前活動」を取り入れてほしい。
- ・ノートにまとめる時間がもう少しほしい。
- ・時間内に授業の内容が終わりず、強制的に切り上げる時があるので、時間を意識してほしい。
- ・毎日ノートの「今日のここをやるといいよ」みたいなネタがほしい。
- ・黒板の字をもっときれいに書いてほしい。
- ・もっと班で話し合う時間がほしい。



生徒の「声」を授業で実現したことを生徒自身に自覚できるようにする。

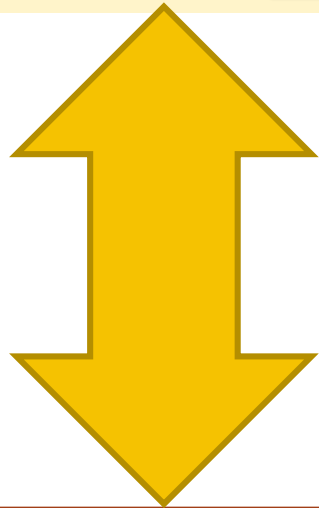


④ どのような授業改善につながったか

■ 学校からの回答（抜粋）

- ・生徒による授業評価後、教師が各自授業を振り返り、アンケートに記入した。2回目の授業評価では、板書の改善について低かった教科の数値が上昇した。
- ・「わからない・苦手」という意識をもつ生徒の割合などから、教科部会で分析をし、授業の進め方や見取りの仕方の工夫改善につながっている。
- ・評価の高い授業を見学するなど、授業スタイルを交流する雰囲気が生まれた。
- ・研究主任が集約・分析し、学校評価4点セットや授業改善5点セットに反映させている。また、来学期の取組内容を全職員で共通理解した上で、最初の授業の際各教科担当が取組内容について生徒の前で話をするようにしている。

「学校の教育目標(目指す子ども像)」からブレイク
ダウンした“取組指標を意識した”授業実践をする



“右脳”と“左脳”
をバランスよく使
いましょう

日常的に子どもの姿から目標に迫っていること
(または、そうではないこと)を“感じ取る”